



里山と森の復元

報告者：緑の環・協議会
星野正人



分科会の内容紹介

- ・日時：2008年3月8日
- ・場所：千葉市緑区小山町観音地他
- ・参加者数：自然観察会52名植樹祭152名
- ・内容 身近な地域の自然と森林の大切さに目を向け地域住民と子供が参加し、村田川源流域の水源涵養林として、砂利採取跡地1.5haに600本を植林し、成長を願いお祝い。子供は感想カード、大人は昼食懇談で感想・意見を聞いた。

分科会の様子



■まとめ 本分科会のまとめ

①土地改良区だけでは、産廃計画跡地の森の復元は困難であり、多くの関係者の支援が必要。②小山町に残る里山の自然の大切さを参加者にアピールできた。③事前準備活動を通じ、専門家からの植栽計画指導、苗木・腐葉土の提供等多くの関係者からの支援・協力が得られた。④土地改良区組合員と地元住民との交流ができた。

■課題

参加者を中心に「森を守り育てる会」を立ち上げ、定例的に森の手入れ活動・自然観察会を実施するが、息の長い活動となるので、できるところからできるだけのことを実践する等運営方法に工夫が必要。

■参加者の感想

①とても楽しく子供たちも親も経験のない生き物や井戸水にふれ、生き生きしていた。②植えた木の様子を時々見に来たい。③手入れなどをするとき参加したい。④こんなに貴重な自然が残っているとは知らなかった。

